



絆 きずな



令和8年7月1日発行



前期の考査が終わりましたね。思ったような点数がとれましたか。そうであればうれしいことです。しかし、そうでなかった場合は落ち込んでしまいますが、それはとても自然な気持ちです。それに、今回の結果はあなたの価値を決めるものではありません。大切なのは、つまずきを次につなげようとする姿勢です。成長のスタートラインととらえ、焦らず、一步一步授業を大切に取り組み、取り戻していけば大丈夫。

また、この時期は部活動で最後の大会を控えている人、すでに大会を終えた人もいるでしょう。緊張や不安、あるいは終わった後の喪失感など、さまざまな気持ちが生まれるのは自然なことです。努力してきた時間は、結果に関わらず皆さんの中に確かに残っていますよ。

心に残った言葉

「選んだ道を正解に」

千國 颯真 先生

「あっちを選んでおけばよかったな」と決断を後悔しそうになることはありませんか？自分自身もこれまでの選択を振り返って違う道を選んでおけばと落ち込んだことが何度かあります。でも後ろを向いていても「今」を変えることはできません。自分が選んだ道を「正解だった」と胸を張って言えるように、今、目の前のことに全力で取り組むことが大切だと思います。自分が決めた道を信じて一緒に進んでいきましょう！

「過去は変えられない。しかし、過去の持つ意味は変えられる。」

柴田 泰地 先生

前任校でお世話になった先生が何度も話されていた言葉です。人生に失敗はつきものです。失敗してしまった過去は取り戻すことができません。しかし、失敗の原因を追究し、今後の糧にすることで、後に大きな力を得ることができます。つまり、その失敗には意味があったということです。失敗することは悪いことではない。ポジティブにどんどん挑戦し、失敗から学んでいこう。

スクールカウンセラーについて

みなさんの悩みを相談できる機会を設けています。

※予約制です。担任または相談室に気軽に声をかけてください。



【7月、9月の予定】

7月1日(水)、9月4日(金)、9月30日(水)

① 15:20~16:00 ② 16:00~16:40